

～もりもり勉強 とっても元気 みんな仲良し やろうよ宝積～

令和8年度  
No. 2

令和8年5月14日

# 本宮日記



盛岡市立本宮小学校  
盛岡市本宮 2-25-1  
電話 636-0249

校訓 「宝積」<sup>ほうしゃく</sup> ～人に尽くして見返りを求めない～

## やる気・元気・笑顔溢れる入学式



学年担任団



新入生を歓迎している二宮金次郎



児童会運営部 歓迎セレモニー



笑顔いっぱい一年生



元気な返事ができました

4月8日（水）に入学式が行われました。清々しい天気のもと、71人の子どもたちをお迎えすることができました。元気で、笑顔いっぱいの1年生の子どもたちからは、新しい生活への期待とやる気が伝わってきました。ご来賓の皆様からは、今年の1年生はとても立派だとたくさんお褒めの言葉をいただきました。

また、入学式では児童会運営部による「1年生歓迎セレモニー」も行われ、学校での過ごし方について教えてもらいました。なお、前日には6年生全員で心を込めて準備を行いました。

## ようこそ本宮小学校へ！仲良くしようね！～1年生を迎える会～

4月24日（金）に「1年生を迎える会」が児童会主催で行われました。6年生のお兄さん、お姉さんに手を引かれ、少々緊張した表情で入場した1年生の子どもたちでしたが、各学年から本宮小学校の暮らし方や学校行事などについて、クイズや踊りなどを交えて、楽しく、分かりやすく教えてもらいました。そして、1年生からのお礼の歌の発表。全校から温かい拍手が送られ、体育館全体が温かい空気に包まれました。これで1年生も本宮小学校の仲間入りです。1年生はどの子どもも満足げな表情をしていたのが印象的でした。

会の後半には、見守り隊の方々も紹介しました。今年度もお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。



手をつないでもらって入場



キレイレのダンスに大喜び



迫力のエールを披露



1年生も元気いっぱい歌いました

# ご出席頂きありがとうございました ～授業参観・PTA総会～

4月18日(土)に行いました授業参観・PTA総会に多くの保護者の方に足を運んで頂きありがとうございました。この日は、朝から晴天に恵まれ、校地内にある30本以上の桜の木々も満開で皆様をお迎えすることができました。

朝、学校の前に立って子どもたちと話す中で、「今日はお父さんとお母さんが来るんだよ。」「緊張する・・・」など、授業参観に向けてがんばろうとしている子どもたちの気持ちが伝わってきました。それぞれの教室で、子どもたちの輝く姿を見ていただけたと思っています。

またこの日は、早朝よりPTAの役員の方々にもご尽力頂き、体操着(小さいサイズ)のリユース販売会やPTA総会の準備をして頂きました。お陰様で盛会の中、無事終えることができました。改めて、本小PTAのご協力に感謝申し上げます。

授業参観後の懇談会では、どの学年・学級においても多くの方に参加頂き、今年度の取組について確認・決定することができました。本宮小学校の教育活動は、このようにご理解ご協力頂ける保護者の皆様の参加により令和8年度も無事一步を踏み出すことができました。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



満開の桜と青空と本宮小学校



3階の校舎から見た桜と岩手山

## 見守り隊の紹介式

大宮交番の  
住吉さん

スクールガードリーダーの  
佐々木さん



長岡さん



一年生を

迎える会において、

本宮小学校の子どもたちの安全を応援して下さい(もっといらしゃいますが今回は代表して7名)を全校に紹介しました。どうぞよろしくお願い致します。お世話になります。



宮野さん



佐藤さん



菊池さん



鷹羽さん

## 校長室の窓から(うれしい電話)

4月30日(木)に、本宮小学校に地域の方からお電話を頂きました。次のような内容の電話でした。

公園の草取りをしていたところ、本宮小学校の男の子が「僕も手伝います。」と言って1時間以上、草取りの手伝いをしてくださいました。また、その後、1歳半くらいのお子さんを連れてお母さんが公園にやってきましたのですが、その子どもと砂場で一緒に遊んであげていました。嬉しかったので、帰り際に「ありがとうね。」と言ったら「いやいや、僕も楽しかったです。」と言って帰って行きました。この地域に30年以上住んでいますが、こんな立派な小学生は見たことがありません。ぜひ褒めてあげてください。

本当に嬉しい電話でした。先生方に確かめてもらったところ、5年2組の太田翔真くんだと分かりました。私が嬉しいと感じた理由が2つあります。1つは、翔真くんの行動の素晴らしさです。「人に尽くして見返りを求めない」という、まさに「宝積」の行動です。もう1つは、それをわざわざ学校に知らせようとしてくれた地域の方がいるということです。その場で「ありがとう」と言って終わってもよかったことです。それを学校でも認め、褒めて、価値付けてほしいという優しい気持ちを感じました。

子どもは学校だけで育てるのではないと考えています。学校、地域、家庭で子どもたちを見守っているということを改めて感じた出来事でした。